



知っておきたい

# 松江市名誉市民



名誉市民章

松江市では、市民又は本市において縁故の深い方で、公共の福祉の増進や文化の進展に寄与した方を「松江市名誉市民」とし、その功績を称えています。現在24名の方にこの称号が贈られています。シリーズで1名ずつ紹介していきます。郷土の誇りとして、いつまでも私たちの心に刻んでいきたいですね。

うめ けん じ ろう

## 第10回 梅 謙次郎 氏【1860~1910】(平成3年10月4日 顕彰)



写真：『松江市勢要覧』より転載

松江市灘町で生まれる。5歳から句読を習い、後に澤野修輔の塾で漢籍を学んだ。明治7年15歳のとき上京、東京外国語学校、司法省法学校を卒業した。同18年、フランス(リヨン大学)、ドイツ(ベルリン大学)に留学、帰国後、東京帝国大学法科大学教授となる。

明治26年から明治民法の編纂に参加、わが国の法制度の整備に指導的役割を果たし「民法の父」と呼ばれている。東京帝国大学法科大学長、政府の法制局長官を歴任、明治32年には法政大学総理(現総長)となり、留学生を積極的に受け入れた。

謙次郎は小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の妻セツの遠縁にあたることもあって、八雲の相談相手となり、明治37年9月、八雲が死去した際には葬儀委員長をつとめた。

晩年、韓国統監伊藤博文に招かれて韓国の法律顧問となり、韓国の法制度の整備に努力したが、ソウルで腸チフスにかかり50歳で死去した。

著書に「和解論」のほか「民法要義」「民法原理」などがある。

松江市総合文化センター(プラバホール)前には、謙次郎の業績を讃え顕彰碑が建てられている。



写真：梅謙次郎博士顕彰碑



## さいかまち 雑賀町

～かつては鉄砲町と呼ばれた町～

●当時、いくつかの町が城をとり囲むようにつくられましたが、山陰道に通じている雑賀町は、最前線でお城を守る役割があり、多くの鉄砲隊が暮らしていました。

雑賀町の特徴である囲碁の盤の目のような街並みは今も残っています。

●雑賀町には、もう一つお城に関する大切なことがあります。

もともと別の土地にあったお城を、色々な問題があって移動することになり、城を築くのもっともふさわしい所はないかと堀尾吉晴と忠氏の親子が相談していたと言われる場所が、雑賀町にある床几山です。

山の上から全体を見下ろして、現在の場所に建てることを決めたそうです。

床几山には記念の石碑が建てられています。



堀尾吉晴、忠氏父子の城地選定の様子：松江市蔵

# CHIDORI No.109

### 松江市立図書館報

編集・発行／松江市立中央図書館  
〒690-0017 松江市西津田六丁目5-44

☎ (0852) 27-3220

2021年9月発行

https://www.lib-citymatsue.jp/  
E-mail: chuou@lib-citymatsue.jp

### ほり およしはる ■堀尾吉晴

とよとみひでよし とくがわいえやす いくさでがら ただうじ せきはら  
豊臣秀吉・徳川家康に仕え、たくさんの戦で手柄を立てました。息子忠氏の代には関ヶ原の合戦のほうびとして出雲国・隠岐国を与えられ、富田城に入りました。

何度も戦を経験して得た様々な技術を盛り込み松江城と城下町を完成させました。現在では「松江開府の祖」と呼ばれ尊敬されています。



銅像：松江城大手前

## 内容

- 表紙 堀尾吉晴銅像
- 見開き 城を守るために整備されたまち「松江城下町」
- 裏表紙 郷土の葉 松江市名誉市民シリーズ「梅 謙次郎 氏」  
雑賀町 ～かつては鉄砲町と呼ばれた町～

しろ  
～城を守るために整備されたまち～  
せいび

# 松江城下町

きほん  
松江城下町基本データ  
城 地：亀田山（城山）  
計画の期間 4年：慶長8(1603)年～慶長12(1607)年  
工事の期間 5年：慶長12(1607)年～慶長16(1611)年

**かぎがたろ 鉤型路 1**  
敵の侵入を防ぐ交差点のことです。見通しが悪いジグザグした道のため、まっすぐ城を目指す敵に行き止まりだと勘違いさせたり、挟み撃ちにすることができます。

**せいだまり 勢溜 2**  
橋を渡った先にある広場のことです。南から攻めてきた敵を溜めておいて、隣の屋敷から鉄砲で一斉に攻撃することができます。京橋の北にある勢溜には上級の家来の屋敷があり、天神橋の先には寺と神社が配置されています。

**すじかいばし 筋違橋 3**  
道路とずらして架けられた橋のことです。道路をそのまま直進すると川に落ちる仕掛けになっています。

**ていしろ 丁字路 4**  
丁の字をした道のことです。見通しが効かないため、回り道をさせたり、挟み撃ちにすることができます。

**ふくこうじ 袋小路 5**  
行き止まりになっている小さな道のことです。侵入してきた敵が抜け道だと思い、進んだ先で行き止まりだと気づく仕掛けになっています。

**ほり 三重の堀**  
敵の侵入を防ぐ3つの堀のことです。城のまわりをかこ囲む**内堀**（青）と、その外側に流れる4つの川を**外堀**（赤）、島根県立図書館西側に流れていた川などを**中堀**（緑）と呼びます。  
図中で色が付いているのが「三重の堀」です

**やくわり 寺の役割 (寺)**  
敵が近づいてきたときの兵の集合場所です。東西南北にあり、境内に整列したり、本堂に宿泊して敵を待ち構えられるような軍事拠点として使われます。

**城下町クイズ** ～どこから攻めてきた敵のセリフが分かるかな？～

A. 「堀が3重もあるぞ！橋の場所もズレていて、堀に落ちる～！」  
B. 「一番侵入しやすいと思ったら、鉄砲隊やたくさんの軍事拠点があるぞ！」  
C. 「見通しの悪い道で挟み撃ちにされてしまう！抜け道と思ったら行き止まりだ！」  
D. 「船で近づいたら鉄砲隊からの一斉射撃だ～！」

**参考資料**  
『親子で学ぶ 松江城と城下町』 宍道正年／著  
『親子で学ぶ松江藩の時代』 宍道正年／著  
『城下町松江の誕生と町のしくみ』 松尾寿／著  
『松江誕生 堀尾氏の築城とまちづくり』 松江湖城ライオンズクラブ／企画発行  
『松江城 新装版』 河井忠親／著

『松江城 授業用ハンドブック 教師向け』 松江市教育委員会  
『さいか再見』 清水利美／著  
『島根県大百科事典 下巻』 山陰中央新報社開発局／編集  
『松江市史 別編1 松江城』 松江市史編集委員会／編

**協力いただいた機関**  
松江市教育委員会／松江市歴史まちづくり部史料調査課

**城下町クイズ** の答え  
A … ■ C … ●  
B … ☆ D … ▲



「堀尾期松江城下町絵図」：島根大学附属図書館蔵